

宮脇檀の住環境設計

生活者の視点で街並みを考える

【講師】二瓶正史／アーバンセクション

宮脇檀 (1936-1998) は 1979 年に建築学会賞作品賞を受賞した「松川ボックス」を始め、打放しコンクリートに木の架構を組み合わせたボックスシリーズなどの住宅を数多く手掛ける一方、単体住宅ではなく、その集合体のあり方と街並み景観の作り方を、公的組織、民間事業者、区画整理組合など多様な開発主体に関わり、生活者の視点で住環境を作ることエネルギーを注ぎ、全国に 64 ヶ所の住宅地に関与しています。

今回のトークイベントは宮脇建築研究室で街並みに係わる設計を多数担当された二瓶正史氏をお招きし、生活者の観点で考える街並みの手法「5つのハードと1つのソフト」「ボンエルフとコモン」についてお話ししていただきます。



高幡鹿島台ガーデン 54 スケッチ (1984 日野市)



青葉台ぼんえるふスケッチ (1992 北九州市)

- 日時 : 2020年2月14日(金)19:00~21:00(18:30 受付開始)
- 場所 : 日本建築家協会 JIA館1F建築家クラブ
渋谷区神宮前2-3-18 TEL:03-3408-8291
- 主催 : JIA 関東甲信越支部 金曜の会(代表 久保田恵子)
- 参加費 : 一般1500円(飲食物代含む) 学生無料
- CPD : 認定プログラム 2単位
- 参加資格 : どなたでも参加可能です。
- 申込み : <https://goo.gl/mKpT3V>(自動受付)
準備のため、お申込みは2月11日までにお願いします。
- 問合せ : info@jia-kinyonokai.org 当日:090-5346-6744(久保田)



宮脇壇の代表的な街並み設計

外構による街並みづくり

既に造成ができあがっている戸建て住宅の街区において、
どうしたら良好な景観の街並みを作ることが出来るかの
コンサルティング業務から発展したプロジェクト

1977 コモンライフおさゆき、1980 妙円寺団地、
1981 コモンライフ則松、1981 龍ヶ崎ニュータウン第1期、
1983 松山上野団地住宅、1984 可児桜ヶ丘ハイツ

建物による街並みづくり

外構による景観と共に、個々の住宅の企画や設計により街並み
景観をつくりだしたプロジェクト

1979 あざみ野 55、1985 九州の家プロジェクト、
1986 市が尾南、1987 あすみが丘プレステージ 21

大規模開発団地の造成計画コンサルティングと街並みガイドライン作成

住環境や街並み景観の観点から造成設計の問題点を指摘し、
解決のための変更提案や建築や外構の設計ガイドラインを
作成したプロジェクト

1980 柏ビレジ、1983 平岡ニュータウン、1987 相鉄緑園都市、
1988 高須青葉台ニュータウン、1988 コモア四方津、
1989 ホームスタウン八王子、1989 みずきが丘、
1992 百合ヶ丘ニュータウン、1994 サンリータウンえびつ

既存の造成地の街区を対象にした街並みづくり

すでにできあがっている宅地造成地の一部の街区を対象に、
2次造成設計を行ったプロジェクト

1982 高須ボンエルフ、1982 コモンシティー船橋、
1986 明野ボンエルフ、1987 つくば二の宮、
1989 シーサイドももち第1期、1990 グリーンテラス城山、
1992 青葉台ぼんえるふ

宅地造成設計から行った街並みづくり

良好な住環境と街並み景観をつくるために、造成設計の段階から
計画したプロジェクト

1984 高幡鹿島台ガーデン 54、1982 コモンライフ新宮浜、
1984 コモンライフ安行、1987 コモンシティー星田 B1、
1998 フォレステージ高幡鹿島台

【講師プロフィール】

二瓶 正史 (ニヘイ マサブミ)

1955 年東京生まれ

1979 年法政大学卒業

1982 年東京都立大学修士課程修了 (都市形成史)

1982 年宮脇壇建築研究室入所

1997 年 (有) アーバンセクション設立

[著書] 「東京の町を読む」 相模書房 1981

「街並みを造る」 丸善 1983

「コモンで街をつくる」 丸善プラネット 1999

[受賞] 都市景観大賞優秀賞、グッドデザイン賞など



可児桜ヶ丘ハイツ (1984 岐阜県)



あすみが丘プレステージ 21 (1987 千葉県)



コモンシティ星田 (1987 大阪府)



フォレステージ高幡鹿島台 (1998 東京都)



高幡鹿島台ガーデン 54 (1984 東京都)